

証 高田 麻紀

私が教会に通い始めたのは中学生の時です。仲の良かった友達に誘われたのがきっかけでした。私は聖書に触れるうちに神様に会い、2000年のクリスマスに東京バプテスト教会で洗礼を受けました。

洗礼をうけてからの私はもっと神様を知りたいと思い、聖書を熱心に読み、祈り会に参加し、大学でも聖書研究のサークルに加入しました。しかし聖書を読めば読むほど、神様を知れば知るほど自分自身の罪に気付かされました。いつの間にか聖書の神様は「裁く神様」に感じられ、教会に通うことが辛くなりました。

そんな時、夫に出会いました。当時通っていた教会はクリスチャン同士以外の恋愛は禁止という雰囲気がありました。当時夫はクリスチャンではなかったので、教会には秘密でお付き合いするようになりました、しかし教会への後ろめたさ、何より神様への後ろめたさで一杯でした。自分は神様の悲しまれることしかできていない、こんな私を神様は愛されないと感じ自分自身を責め、苦しくなった私は夫とのお付き合いを辞めることにしました。

私がそのようなことを考えている間に夫は洗礼を受ける決心をし、2005年のクリスマスに戸塚バプテスト教会で洗礼を受けました。夫の洗礼を通して神様はどんな時も変わらず私を愛していてくださるのだと知ることができました。夫の洗礼をきっかけに、戸塚バプテスト教会に通うことになりました。

昨年5月に長男が生まれ、教会について再び考える機会が与えられました。私は12月25日はクリスマスを祝い、31日にはお寺に行き、1日には初詣に行くような典型的な日本人の家庭に生まれました。両親から特に信仰について反対されたことはなく、反対に強制されたこともありませんでした。長男を教会に連れて行くことは、信仰の強制につながるのではないかと考えてしまい、どのように長男を育てればよいか迷い、祈っていました。

神様は私の祈りを聞かれ、清水文子さんを通して泉教会と出会いました。泉教会で礼拝を捧げながら、長男にも神様の愛を知ってほしい、神様に会ってほしいと感じるようになりました。さらに私自身が礼拝を守ることで日常の色々な悩みや思い煩いを神様に委ね、毎日を精一杯生きていく力を得られています。このようなことから、泉教会への転会を希望します。これからも日々神様に委ね、信仰生活を歩んでいきたいと思っています。よろしくお願い致します。